

<金標準、中国需要停止と雇用情勢を受けた失望売り・・・>



(出所：オアシス)

中国人民銀行が保有する金地金は5月時点で7280万トロイオンス(2264.3トン)と、前月4月と変わらずとなり、中国人民銀行が準備資産としての金購入を見送ったのは2022年10月以来となった事から、金価格は中国需要で支えていた根拠を失い失望的な値動きを見せている。また週末に発表された雇用統計で、非農業部門就業者数が事前予想の19万人増を大きく上回る27.2万人増とサプライズな増加を示し、失業率は4%へ増加し、平均時給でも前月の0.2%から0.4%へ上昇している。特に7月の利下げ予想を示していたシティやJPモルガンは、シティが利下げ開始を9月へ変更し、JPモルガンも11月に先送りするなど、FRBの「より高く、より長く」の金融姿勢が再度意識する動きへ移行している。

そのため「金利を生まない金」にとって金利の高止まりは失望を生む動きとなり、前者の中国要因と合わせて週末には11552円まで反落し、6月5日の安値11568円を下回ったことから今週12日のCPIやFOMCに向けて下値模索の値動きに注意が必要と思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDはMACDが下げながら、シグナルも下げ続けている。RCIは短期が下げて、中期も下げている。また日足が10日移動平均線や40日移動平均線を下回るなど、戻り売りの値動きに注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 6 月 10 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 6 月 10 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>